

ベトナム最新情報

2019年5月9日（木）

— 通巻4587号 —

目次

○ 政治・経済

- = 日本からの投資、南部各省で今後も進む
- = 南北高速道路建設事業、2区間を国際入札で調整
- = ベトナムの乳製品、中国向け輸出を本格化
- = ダナン市、連休中に観光客で賑わう

○ 日本・日系企業関連情報

- = イオングループ、首都圏40店舗でハノイ商品フェアを開催

○ 社会・文化・トレンド

- = ホーチミン市の物価が高騰、市民から不満の声

○ 統計情報

- = 小売・消費サービス業界の売上、毎年10%超の成長が続く

○ 一口ニュース (3件)

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

○ インタビュー

- = ILO 専門家にインタビュー、企業のための職業訓練

******* 政治・経済 *********日本からの投資、南部各省で今後も進む**

ベトナム南部各省への日本からの投資は今後も増加すると見込まれており、特に裾野産業、機械・設備生産、電子部品関連などの分野で顕著となっている。

■ホーチミン市近隣省に日本企業の投資が増加

Ba Ria-Vung Tau 省の Phu My 3 工業団地は 2011 年末に締結された日本・ベトナム協力プログラムの 2 つある工業団地のうちの 1 つだ。

Tan Binh Phu My 社の Nguyen Thi Thao Nhi 社長によると、2019 年 4 月に設立 5 周年を迎えた Phu My 3 工業団地は、今日までで 16 件のプロジェクトに対して、130 ヘクタールの土地を貸し出しており、登録投資額は 18 兆ドン（900 億円）に上るといふ。

このうち、9 つのプロジェクトが日本からの投資で進められている。すでに一部の企業は工場を建設し、生産活動やビジネスの準備段階に入っている。

年始から今日までで、ベトナム南部各省は多くの日本企業の誘致に成功しており、その中には増資なども含まれている。

Dong Nai 省では、Long Duc 工業団地が登録投資額 9,200 万ドルの Semba Tohka Viet Nam 社のプロジェクト誘致に成功し、Amata 工業団地では、V-Stainless Steel 社が進めているプロジェクトに 860 万ドルを追加投資した。

Binh Duong 省は、My Phuoc 3 工業団地における Toyotsu Vehitecs Viet Nam 社が展開するプロジェクトに 100 万ドルの追加投資が許可されたことで、同社の総投資額は 500 万ドルに達した。

このように、Dong Nai 省や Binh Duong 省など、ベトナム南部で活動する日本企業は、投資額で常に上位にランクインしている。

Dong Nai 省計画投資局によると、これまでに日本企業 250 件のプロジェクトが投資し、総投資額は 44 億ドルに上り、同省への各国投資ランキングで 3 位となっている。

同様に、Binh Duong 省計画投資局の最新の報告によると、同省における日本企業の総投資額は 51 億ドルで、プロジェクト数は 296 件に上り、全総投資額の 15.6% を占め、同省への各国投資ランキングで 2 位となっている。

■進出した日系企業の多くは好調

Gas Viet Nhat 社の矢菅治彦社長は、Phu My 3 工業団地や近辺で活動する各企業に供給するための工業用ガスの生産に投資したと話す。

同社の工場は 2018 年に着工された、ガス生産のための土地レンタル、水道供給、その他の関連するサービスなどをはじめとした必要不可欠なインフラ整備において様々な支援を

受けられたことに非常に満足しているという。

同社長は「同工業団地のリース用の土地面積は、私たちが工場を着工してからも拡大しています。これはビジネスを広げようとしている企業にとっては良いチャンスになるのではないのでしょうか」と述べた。

Dong Nai 省計画投資局 Nguyen Huu Nguyen 副局長は、日本は同省にとって非常に重要なパートナーだと認識していると述べた。

日本企業の多くは、裾野産業、機械・設備生産、電子及び関連部品の生産など同省が優先して誘致している分野への投資が中心で、それを高く評価している。

副局長は、長年日本で開催している投資促進セミナー以外にも、すでに同省に投資している日本企業が効果的な支援を受けられていることや、投資における諸問題解決のために行政との対話や相談も密に進められていることなどもあり、今後も日本から Dong Nai 省への投資は続くと分析している。

YKK Viet Nam の久我翔平社長は、Dong Nai 省に投資しているほとんどの日本企業が成功を納めていると強調した。

同社長によると、YKK Viet Nam は縫製企業に供給するためのファスナーの生産を専門にベトナムで活動を始めて 20 年が経過し、一般的な傾向として、多くの日本企業が、生産コストの削減や生産の国内化を推し進めるためにベトナム国内でパートナーを探しているという。

「ベトナムに進出する日本の大手企業が増加したことで、日本の裾野産業分野の中小企業も投資を始め、ベトナムに生産工場を建設するようになりました」と、現在の日本企業の投資傾向を語った。

(Bao Dau tu 5 月 6 日,P.5)

南北高速道路建設事業、2 区間を国際入札で調整

2017 年～2020 年の南北高速道路建設事業で、投資・請負企業を選定するための選定基準などが盛り込まれた入札書類の準備が進められている。

■2 区間で広く入札

交通運輸省所属の官民連携部の Nguyen Viet Huy 副部長は、これまでに南北高速道路建設事業の 11 の投資プロジェクトを承認し、総投資額は 102 兆 5,130 億ドン (5,125 億 6,500 万円) に上り、そのうち 3 事業は国の投資で、8 事業については BOT 方式、官民連携 (PPP) で進めていくと発表した。

承認された実現可能性調査報告によると、PPP 方式で建設される同高速道路建設プロジェクトの 8 事業は A グループプロジェクトに分類され、道路建設部門に属する。

投資家の選定は国際一般入札形式に則り、一次選定と本入札の 2 段階に分けられている。一次選定では、事業実現に十分な条件を有し、評価の高い投資家を最大 5 つ選定するため

に、投資家の財務状況や経験を評価し、その後入札に移る。入札では、事業を実現するための技術面と入札提示価格を評価して、投資家を選定する。

Huy 副部長によると、交通運輸省は入札書類の準備を進めており、2019年4月には書類を発行することができるかと述べた。投資家の能力と経験を評価するために、交通運輸省は書類に100点満点の採点基準を設けている。その基準の中で、応札条件の少なくとも60%（60点）と、基本要件の各内容の評価ポイントを少なくとも50%（50点）満たしていることが条件になる。

「合弁企業の場合、財務能力は合弁企業に属している各投資家の財務能力と見なされ、同時に各投資家は、合弁企業契約に基づく出資額と同等の財政能力を満たす必要があります」と述べた。

■国内企業には高いハードル

入札管理局局長の Le Van Tang 氏は、世論はベトナムの投資家が落札するのか、海外の投資家が落札するのかということにあまり関心を示しておらず、誰が落札したとしても、落札者は責任を持って、提示された要求に準じて工事を進めていくことが一番重要だと感じているという。

国内投資家の入札参加の可能性に関連した専門家の評価によると、もし今回の入札書類で定められている基準が、すでに投資家の選定が行われた Tan Van - Nhon Trach 間、Day Giay - Phan Thiet 間の事業と同じような基準であれば、一次選定をクリアするのは難しいという。

交通運輸省によると、国内投資家が政府決定第 20/NQ-CP 号と入札法の規定（投資家の資本が総投資額の20%以上であること、入札を検討している事業の総投資額の少なくとも50%の額と同等の事業に携わった経験があること、これまでに現在入札を検討している事業の価値の30%相当のプロジェクトまたはパッケージを施工したことがあることなど）に沿って最低限の基準を満たすことは非常に難しく、要求される能力と経験を保証し、入札参加資格を満たすためには、国内外の投資家と協力しなければならない。

さらに、国内金融機関の長期融資残高の条件は高く、長期融資に対する短期資本動員率は規定によって制限されており、国家銀行はこれらの比率を下げるよう主張しているものの、国内金融機関から融資を受けるには、様々な問題が立ちはだかっている。

実際のところ、PPP 事業の成功は市場に頼る部分が非常に大きい（リスクの度合い、プロジェクトの魅力、その他の分野の利益、長期的に供給可能な資本、国家の安定した政策など）。

「国内外の投資家の入札の参加の可能性を見極めるために、新しく十分な審査基準を設けることで、評価することができるのです」と PPP 部門の管理者は話した。

(Bao Dau tu 4月22日,P.4)

ベトナムの乳製品、中国向け輸出を本格化

政府ポータルは4月26日、中国に輸出されるベトナム乳製品に対する獣医及び公衆衛生上の要件に関する議定書を在ベトナム中華人民共和国特命全権大使の Hung Ba 大使に手渡したと発表した。

署名された議定書の内容について、農業農村開発省 Tran Thanh Nam 副大臣は、「これは、14億人の消費者を抱える市場にベトナムの牛乳を正式に輸出する条件を作り出すための合法的な基礎になります。また、将来のベトナムの酪農と乳製品加工原料及び乳製品の開発促進のための牛乳及び乳製品の流通に関する2国間の政府と関係機関の取り決めです」と述べた。

同副大臣によると、今回の議定書は、国民及び酪農や乳製品加工企業をはじめ、カシューナッツ、マカダミアナッツ、マンゴー、イチゴなど乳製品原料を生産する産業にとってこの上ないチャンスになっており、同分野への投資誘致にも繋がり、ベトナムの酪農及び乳製品加工分野発展を大きく約束する内容になっているという。

また、同議定書は現代化への投資の一助となり、ベトナム乳製品の品質向上にも繋がることになる。

農業農村開発省は、現在生産された乳製品がどこで作られたものなのかを追跡することができる効果的なトレーサビリティシステムを導入している。

ベトナム企業や酪農業界は、最新の酪農モデルを取り入れ、牛乳生産過程において、病原菌の検査や食品安全検査などができるよう生産工程の再構築を行い、牛乳及び乳製品加工などに関わる施設の近代化を進めることで、中国に輸出するための要求を満たすことができる。政府は早急に生乳及び乳製品に関する基準と規定を発行する予定だ。

(Cafef.vn 4月27日)

ダナン市、連休中に観光客で賑わう

ダナン観光局の情報によると、4月30日と5月1日の祝日にダナンを訪れる観光客は延べ37万3,000人と予想され、前年同期比で5%増加する見込みだという。また、その中でも外国人観光客が11万4,000人に上り、12%の増加となる見込み。

4つ星、5つ星ホテルの稼働率は80~85%で、4月30日は90~95%の稼働率が見込まれ、そのほとんどが外国人観光客だという。

同観光局によると、今年は5日間の連休があること、同時期が夏の旅行シーズンの始まりでもあること、そして多くの国の連休が重なったことが観光客の増加に繋がっている。この時期に、ダナン市は様々な催しを開催する。

また観光局は、同時期の観光客に対するしつこい押し売りや客引きの取り締まりを強化するよう各区・各郡を指導した。これを受けて、各関係機関は同期間のパトロールや取り締まりを強化する。

(Tuoi Tre 4月27日,P.7)

******* 日本・日系企業関連情報 *********イオングループ、首都圏 40 店舗でハノイ商品フェアを開催**

ハノイ市貿易投資促進センターによると、2019年6月5日～12日まで、埼玉県など首都圏のイオンスーパー40店舗で、「ベトナムーハノイ商品ウィーク 2019」が開催される。

この中で、埼玉県のイオンレイクタウンにあるメイン会場は 500m² の規模で開催するという。

「ベトナムーハノイ商品ウィーク 2019」では、ベトナム企業とイオングループの取引におけるイオンの各店舗で取り扱う商品の基準、輸入品の規格・規定を紹介し、ベトナム企業と日本企業が直接取引の交渉などを行う機会も設ける。

(Dau Tu 5月8日,P.2)

******* 社会・文化・トレンド *********ホーチミン市の物価が高騰、市民から不満の声**

電気料金やガソリンが相次いで引き上げられたことで、生活必需品の価格も値上がったため、連休明けの主婦たちは不満気味だ。

■食品も日用品も、何から何まで値上げ

魚売りの女性が「電気代とガソリン代が上がって、今は何でも値上がりしている」と言った通り、養殖の雷魚は1キロ8万3,000ドン（約415円）で、1キロあたり5,000～7,000ドン（約25～35円）値上がりしていた。

10区の市場に店を持つPhuongさんは、ダラットのエンジンが連休前に1キロ2万7,000～2万8,000ドン（約135～140円）だったが、5月2日には1キロ3万ドン（約150円）になったと話す。

中国のエンジンは1キロ1万5,000ドン（約75円）から1万8,000ドン（約90円）になり、玉ねぎは1キロ4万～4万2,000ドン（約200～210円）だったものが、今は4万5,000ドン（約225円）に値上がっている。

彼女はさらに、「以前はコリアンダーやネギは野菜を買えばおまけで付けてくれたのに、今はお金を取るし、3～4本で2,000ドン（約10円）もするわ」と付け加える。

仲介業者は、ガソリン代が上がったため、様々なものが数千ドンほど値上がったと言う。以前1日の仕入れ値は500～550万ドン（約2万5,000～2万7,500円）だったが、旧正月休み明けには600万ドン（約3万円）になり、今では700万ドン（約3万5,000円）になっているが、商品の量は変わっていないと言う。

ホーチミン市中心部のいくつかの市場を調査してみると、大半の商品が値上がりしていることが分かる。必需品であるコメも平均で1キロあたり500~1,000ドン(約25~50円)値上がっている。

豚肉など価格が高いまま変わらない商品もいくつかある。赤身のもも肉やスペアリブは1キロ9万8,000~10万5,000ドン(約490~525円)、骨付きロースは8万7,000~9万ドン(約435~450円)、ばら肉(三枚肉)は11万~11万5,000ドン(約550~575円)となっている。

食材が値上がったため、殆どのレストランで価格が大幅に値上げされた。8月革命通りのHoa Hung市場近くにある有名なフーティウの店では、5,000ドン(約25円)値上げし、1杯5万ドン(約250円)になった。

店主は残念そうに、「以前は、お客さんを失うのが怖くて、値上げはせず据置きにしていたのですが、少しだけ上げることにしました」と常連客に説明する。

■輸送サービス業は15~20%の値上げ

Nguyet MinhさんはGrabのアプリを使って4人乗りの車を呼び、4区のHoang Dieu通りから3区のNguyen Dinh Chieu通りまで行って、とても驚いた。ピーク時でもないのに、料金はいつも彼女が行く時と比べ、1万ドン(約50円)近く高かったからだ。

Grabの運転手はその説明として、電気代やガソリン代が高くなり過ぎたが、Grabの運転手は勝手に運賃の引き上げが出来ないため、以前は空き時間を利用して車を運転しGrabで副収入を得ていた多くの人たちは、アプリをオフにして運転を止めてしまったという。

そのためGrab運転手の数が減り需要が供給を上回ったため、価格設定ソフトが自動的に運賃を引き上げたのだと言う。

Lam Vinh運送会社のLam Dai Vinh社長は、「過去2年間連続で、商品を輸送する企業には利益がありません。過去数か月間に、多くの企業は営業を停止し、車を売らざるを得ませんでした」と現状を語る。

さらに、「現在は車両の数が不足しているため、コストが更に増え、企業は運賃の調整を余儀なくされています。最近、ホーチミン市の各運送企業は、15~20%価格を引き上げた新しい料金を発表しました。お客様の同意があれば輸送しますが、そうでなければ輸送しません。我々にはこれ以上損失を補填する余裕がないのです」と困り顔だ。

Vinh社長はさらに、価格安定化基金は効果がなく、市場の安定に役立たないだけでなく、市場に混乱を与えていると話した。

「企業はガソリン価格が高いことに不平を言っているわけではありません。国際的なガソリン市場に合わせて価格調整があれば、庶民も企業も受入れます。問題は、今のベトナムのガソリン価格の運用が合理的ではないことです。世界のガソリン価格が上がった時、国は値上げを抑えるために価格安定化基金を使い、後になって急激に値上げしましたが、それでは困るのです。価格の計算方法も明確ではありません。企業は顧客との契約時に、

燃料価格の増減を事前に予測できないのです」と深刻な状況を語った。

(Thanh Nien 5月4日,P.5)

***** 統計情報 *****

小売・消費サービス業界の売上、毎年10%超の成長が続く

年初4か月間における小売商品と消費サービスの売上高の合計は1,583兆7,000億ドン(約7兆9,185億円)で、前年同期比11.9%増加した。

これは2015年以降、最も高い増加率となる。2015年は10.7%増、2016年と2017年は10%増、2018年は11.3%増で、毎年10%を超える成長を続けている。

(Dau Tu 5月6日,P.2)

***** 一口ニュース *****

中国は4月9日から一部の食品や繊維製品の輸入税を引き下げた。書籍・印刷物、飲食料品、金銀、家庭用品などのグループ1は15%から13%に、漁具や繊維製品、既製衣料品などのグループ2は25%から13%に減税された。

(Thanh Nien 4月29日,P.6)

ホーチミン市都市鉄道管理委員会はメトロ5号線(Can Giuoc 新バスステーション～TanBinh 区の Bay Hien 交差点)の投資に関して、官民パートナーシップ(PPP)形式で投資するよう市人民委員会に提案した。計画では投資額が21億9,000万ドル、全長14.5km。

(Tuoi Tre 5月8日,P.4)

交通運輸省は南北高速道路の Binh Thuan 省を通る区間の投資計画を承認した。この区間は全長185.1kmで6車線、最高速度は100～120km、総投資額は約40兆ドン(約2,000億円)。 Binh Thuan 省の29町村を通る予定。

(Nhip Cau Dau Tu 5月6日,P.12)

為替・証券市場動向	
為替相場	<p>キャッシュ 23,460 ドン/USD <国家銀行中心レート 23,051 ドン/USD> (5月9日 11時30分・Vietcombank)</p>
株価指数	<p>VN-Index 950.01 (▼-1.21/-0.13%) VN 30 873.32 (△ 0.54/ 0.06%) (5月9日前場終値・ホーチミン市証券取引所)</p>

***** 入札情報 *****

**【施工】 Binh Dinh 省国道 19 号舗装・道路・排水システム建設
 (Km0+00~Km2+00 区間)**

(Binh Dinh 省人民委員会承認 2019 年 4 月 26 日付文書 1447/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
施工	552 億 3,342 万ドン	国家 予算	国内公募 入札	2019 年 第 2 四半期	固定 単価式	7 か月

投資主 : Binh Dinh 省交通プロジェクト管理委員会
 (電子入札システム 4 月 26 日)

******* インタビュー *********ILO 専門家にインタビュー、企業のための職業訓練**

国際労働機関（ILO）アジア太平洋地域局技能・就業能力専門家の坂本明子氏は、20 年に及ぶ経験から、現在の職業訓練における問題点を指摘した。

同氏は、これまで何度もベトナムを訪れており、職業訓練支援の目的と 3 つの問題点を話した。

一つ目は、各企業の職業訓練に対する意識の低さを指摘できます。企業が自社の活動において、職業訓練やそれに対する投資がビジネスにおいていかに重要なことかということに気づくために必要な政策がまだ十分ではありません。

二つ目に、現在の職業訓練システムは大学に正規に在籍する学生にばかり焦点が当てられており、すでに企業に在籍し、仕事をしているスタッフに対して訓練を続けるかどうかといったことにはさほど関心を持っていないように感じます。

そうした中、職業訓練というのは終わりのないプロセスです。企業に在籍し仕事をしているスタッフも工員も、技術向上のための機会が必要です。

最後に、私たちは全体的な成長についてしばしば議論しています。社会全体・企業全体を成長させるために、職業スキルは出発点になりますが、ここに関心を持って、力を入れる意識が十分ではないと考えています。

労働者の技術に重きを置き、そのスキルが向上すれば、仕事や企業もより良い方向へと成長します。若者がインターンシップに参加し、そこに将来の希望を持てれば、彼らはそのスキルを学びたいと感じるはずです。

坂本明子氏は、まず上記のような問題点を挙げ、インタビューは始まった。

Q: では、先に挙げていただいた課題を解決するために、私たちは何をしなければならないのでしょうか？

A: 労働・傷病兵・社会省の職業訓練総局は、企業に職業訓練がより身近なものになるように、積極的な変化や改善を進めています。こうした動きは非常に正しい方向に向かっていていると感じています。こうした動きを通して、企業は職業スキルの発展における彼らの役割が見えてくるのだと思います。

これは社会的責任ではなく、企業や社内組織を成長させることに直接繋がります。大まかに言うと、国のために技術レベルの高い集団を育成することは、結果としてそれは育成した企業の利益に大きく影響するのです。

また、訓練の多様化は、課題の克服にかかる時間を短縮させます。各分野の発展レベル

やその質もそれぞれ異なることから、この「多様化」については、企業のニーズ、各分野のニーズに沿ったものでなければなりません。

国家はそれらを調整する役割を持っていますが、全ての分野のニーズをひとまとめにするのではなく、より具体的なニーズに沿って訓練方法やモデルを提示していくべきです。

そして、国家による管理も、地域ごとに柔軟に進めなければなりません。地域によっては職業訓練をさほど必要としない地域もあれば、切実に必要としている地域もあるからです。つまり、ある地方の職業スキルの底上げを図るには、その地方の実情に合った政策を打ち出す必要があるのです。

Q: 実際、多くのベトナムの若者や家庭は職業訓練を受けませんが、他国の実情はどうですか？

A: ベトナムだけでなく、その他の国々でも同様の状態です。では、その解決策はあるのでしょうか？

私の知る限りですが、一部の国では、職業訓練システムの質と評判を向上させているところもあります。こうした国は、企業のニーズに沿った訓練を取り入れてスキルの向上を図り、訓練を終えた人々は良い仕事を得て、高い給料を得ることができています。

また、大学や専門学校などに通えない人や遠隔地にいる人、仕事などで時間的な制約がある人に対しても、彼らのスキル向上を目的とした機会を創造しなければなりません。

それと並行して、どこで勉強しても訓練証明書が発行されるシステムが必要です。もちろん、試験などを通してそのスキルの評価を受け、証明書を受け取るために訓練センターや学校に足を運んでもらうことは必要でしょう。

証明書があれば、企業に就職する際に使えますし、キャリアアップにも一役買うことになるのではないのでしょうか。

Q: 今の若者が坂本さんに会い「今、私は何を学ぶべきでしょうか？」と聞かれたら、どのようにお答えになりますか？

A: 仕事は目まぐるしい変化を見せています。今日ある仕事は、明日には無くなっていることもあります。

もし、私がある一定の職業を勧めても、今から勉強を始めて訓練が終わったときには、その職業はすでになくなっているか、衰退している可能性もあります。

しかし、良い仕事を得心するためには、訓練を受けてより良い基礎を作ることに励み、どの分野でも使える必要なスキルを身につけることを勧めます。そうすることで、様々な分野で対応することができます。

次に私が勧めたいのはキャリア・ガイダンスです。若い人たちの多くは、ある分野について学び、その分野の職業で仕事をするものだと考えています。しかし、実際はそうではありません。勉強した分野とは全く異なる職業に就くことも珍しくありません。

学校で学ぶこと以外でも、職業スキルは自分が選んだ職業に就き、仕事を続けて行く中で培われていきます。こうしたことを通して、将来の仕事により順応していくことができるのです。

技術が日々進化していく中で、ある職業の将来について語るのとは簡単なことではありません。ですから、そうした変化に対応できるスキルを身につけておくことが何よりも重要なのだと思います。

技術に関して言えば、全ての企業がそれぞれの特徴にあったアプリケーションを選択し、その企業の労働者はその選択に従います。しかし、どのような変化があっても、企業の管理者、労働者の代表、そして労働者の間でコミュニケーションを密にとることができていれば、誰も取り残されないようになると信じています。

(Tuoi tre 4 月 25 日,P.12)